

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科材料学		講義	安岡 大介	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。歯科材料学がひとつの独立した科目ではなく、歯科診療補助論や保存学、小児歯科、歯科矯正、補綴学など数多くの分野に深く関連していることに気づき、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 歯科材料の基礎知識が説明できる。 2. 印象材、石膏の種類と用途、一般的性質が説明できる。 3. 合着材、接着剤、仮着材の種類と基本的性質が説明できる。 4. ワックス、金属、陶材、その他の歯科材料について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	歯科材料の基礎知識			
2	歯科材料の基礎知識			
3	歯冠修復材・仮封材・暫間修復材			
4	印象材			
5	模型用材料			
6	合着材・接着材 と仮着用セメント			
7	新しい歯科材料・他の歯科治療用材料			
8	ワックス・金属・陶材・その他の歯科材料			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題				
小テスト	20%			
平常点	10%			
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯科材料		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
世界一わかりやすい歯科材料入門		片岡有・川島貴重	デンタルダイヤモンド社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				